

12) ジャスミンとソケイ＝茉莉花と素馨

ジャスミンはモクセイ科オウバイ属の常緑低木の総称で、世界の熱帯地方から亜熱帯にかけて約 400 種が分布する。とりわけ東南アジア、アフリカ、太平洋諸島に多く、この中にはマツリカやハゴロモジャスミン、ソケイ、キソケイなど、日本でもおなじみのものが多く、春先、黄色の花を咲かせる黄梅もこの仲間である。

マツリカはアラビア、インドを原産とし、半ツル性で高さは 1.5～3m になり、葉は広卵形で 3 枚が輪生するか対生となる。夏、直径が 3cm ほどで、弁先が 6 裂して芳香のある花を枝先に数輪ずつまとめて咲かせる。和名の由来はサンスクリット語の『mallika』に由来する中国名『茉莉花』の音読みである。別名にはジャスミン、マリカ、モウリンカなどがある。学名は『*Jasminum sambac*』で、属名は白い花を意味するアラビア語で、種小辞はこの植物のアラビア名である。イギリスでは単に『Jasmine』または『Arabian jasmine』である。

マツリカはインドネシアやフィリピンでは国花にされており、タイやハワイなどではこの花でレイを作る。また花から抽出した香油成分は、ジャスミン油と呼ばれ、高級調合香料として香水や化粧品などに利用されている。マツリカは中国にはかなり古い時代に伝わったようで、11～12 世紀ごろの宋代には『花茶』(ホワチャ)として利用されるようになった。花茶とは緑茶に花の香りを移して、茶の香りと花の香りが溶け込んだ、まるやかな味わいを楽しむものである。その方法はマツリカの蕾を開花直前に摘みとり、夜、花卉が開き初めて香りが漂い始めた頃に、茶葉に混ぜるものである。良質なものはこの工程を何度か繰り返して、香りをより強くして行くことによって作られ、ジャスミン・ティーとして広く親しまれている。

同じ仲間のハゴロモジャスミンは中国が原産で、ツルがよく伸びて、ナンテンに似た葉を対生する。晩春、淡いピンクの蕾を無数につけて、開花すると花色は純白になり、香気の強い花を 30～40 個房状に咲かせる。東京近辺では多少寒がるものの、屋外でも越冬できるうえ、葉はよく繁るので垣根にからませたり、ポール仕立てにして育てることもできる。学名は『*Jasminum polyanthum*』である。

一方ソケイはモクセイ科の常緑低木で、原産地はインドである。高さは 1m ほどで茎は直立するもののツル性を帯びてよく伸びる。5～9 個の奇数羽状複葉は有柄で対生し、小葉は卵状である。夏から秋にかけて葉腋または枝先に、数個の白色の小花をつける。花は夜に開いて強い芳香を放つ。和名の由来は漢名『素馨』の音訳である。別称としてはジャスミンとか、ツルマツリ(蔓茉莉)、ツルマリなどであり、マツリカとの混同が見られる。学名は『*Jasminum officinale*』で、種小辞は薬効のあるという意味である。中国では『素馨』『野悉密』『耶悉茗』などと呼ばれ、イギリスでは『jasmine』、フランスでも『jasmin』である。花はジャスミンと同じように香料をとる原料にしたり、ジャスミンティの材料などに用いられている。



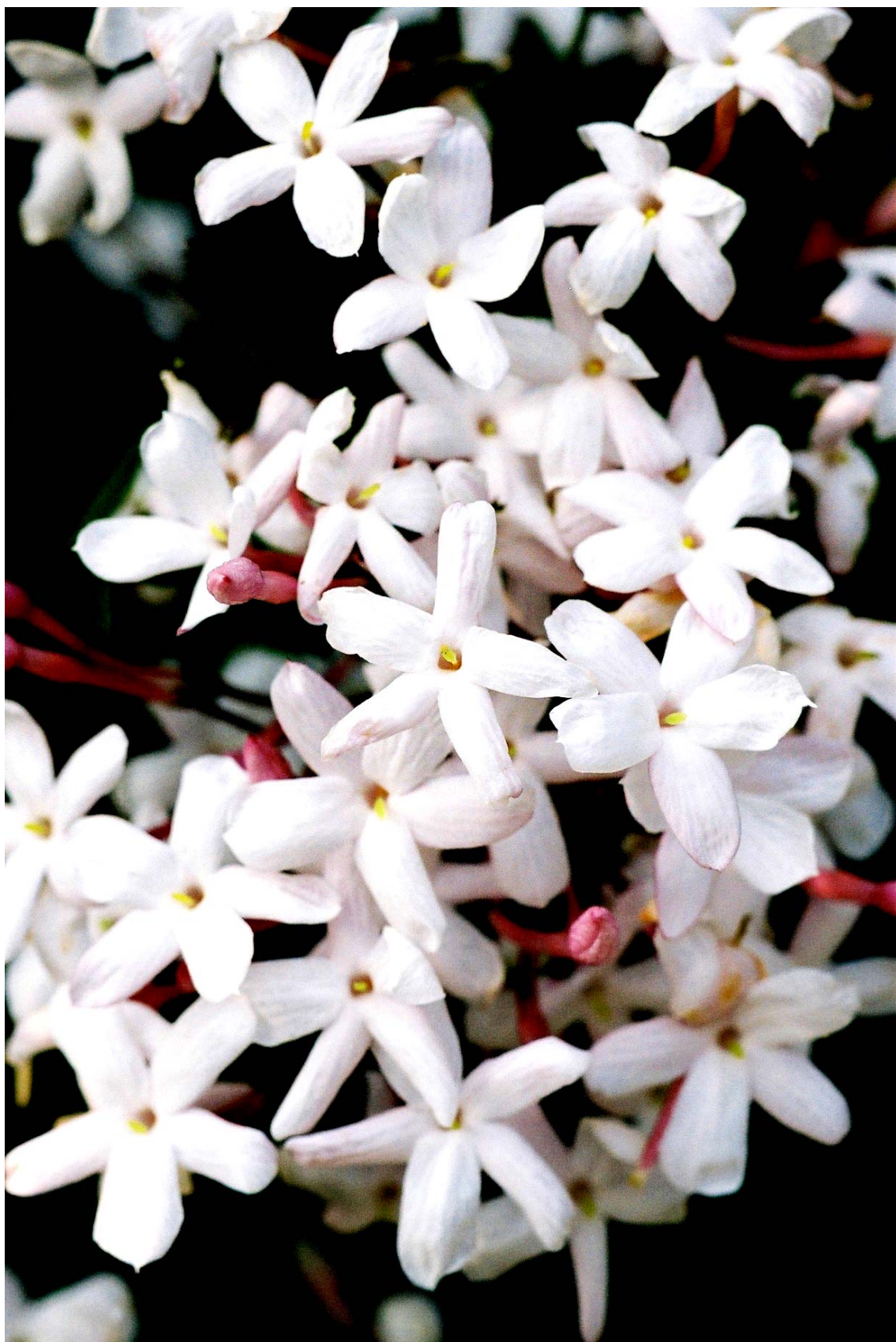
マツリカの花はマダガスカル・ジャスミンとして販売されていることも多い。しかしこの植物は全草に有毒アルカロイドを含み、心機能障害、痙攣、筋肉麻痺などを起こす。



純白の花は美しく香りも素晴らしい。鉢植えにして冬は室内で管理する。



アラビア・ジャスミンの花。ジャスミンと名のつく植物はどれも香が素晴らしい。このため古くから経済栽培が行われ、フランスのジャンパトゥ社の香水『Joy』の主原料にされている。



ハゴロモジヤスミンの花。日本でも東京あたりなら露地で越冬できる(さいたま市浦和区)。



この花も「マツリカ」として販売されているが、こちらはヒイラギ科で、花は次第に白化する。香りがよいためマツリカ茶などとして利用され、栽培もされているが冬はやや寒がる。



右側の花は開花後、数日経ったもので、左に比べると白化している(さいたま市浦和区)。



香りの良いイェライシャン(夜来香)、学名は『*Tebsma cordata*』である(東京都薬用植物園)。



香りの良いヘリオトロープ。学名は『*Heliotropium arborescens*』で、原産地はペルー。日本で始めて市販された輸入香水は、フランスのロジエ・ガレ社の『Heliotrope Blanc』だった。



ヘリオトロープはフレーム内で保温して栽培すると、季節に関わりなく開花する。



香りのよい花はジャスミンと呼ばれることが多い。これはキバナジャスミンとかカロライナジャスミンと呼ばれており、学名は『*Gelsemium sempervirens*』で、有毒植物である。



ジャスミンと同じ仲間のキソケイ。カロライナジャスミンとそっくりな花を咲かせるが香りはない。漢字では「黄素馨」と記し、学名は『*Jasminum humile*』である。

[目次に戻る](#)